

今日から使える！ 教職員のための 生成AIプロンプト集



※このイラストは生成AI(ChatGPT)により生成した画像を用いています。

目次

はじめに 1

【1. 文章作成・校正補助】

児童生徒向けの話のたたき台作成 2

保護者向けの通知文章案の作成 3

学級通信の校正 4

【2. 検索補助】

業務に関する情報収集 5

文献からの情報収集 6

【3. 会議・研修支援】

会議の議事録を短時間で要約 7

校内研修用の資料案作成 8

【4. 情報収集・集計・分析補助】

アンケート集計・分析 9

【5. 計画・アイデア出し・思考整理】

授業構成案の作成 10

体育祭の課題解決アイデア 11

【6. 評価問題・課題作成支援】

課題案の作成 12

はじめに

プロンプト作成の6つのポイント (ガイドラインvol.2.0より抜粋)

生成AIを効果的に活用するためには、生成AIに対して

明確かつ具体的な指示を与える「プロンプト」

がとても重要です。

- ・どのような情報を、
- ・どのような形式で、
- ・どのような観点から

生成してほしいのかを
生成AIに明確に伝える
ことで、より望ましい出力
を得ることが可能となり
ます。

プロンプト作成の6つのポイント

① 人物の指定

「あなたは〇〇学校の〇年生担当の教員です」のように、AIに役割を与える。

② 指示の明確化

「〇〇を作成したい」「〇〇のアイデアが欲しい」など、何を達成したいかを具体的に示す。

③ 対象の指定

「小学〇年生向け」「保護者向け」など、誰のためのものかを明記する。

④ 出力例・形式の指定

「出力例」や、「箇条書きで」「表形式で」「〇〇字程度」など、望ましい出力の形を指定する。

⑤ 補助条件の指定

文体やトーン、考慮すべき点、避けてほしい表現などの補助条件を指定する。

⑥ 対話による改善

最初から完璧な出力を期待せず、AIの応答を見ながら、追加の指示を与えるなどAIと対話し、望む出力に近づけていく。

1. 文章作成・校正補助（児童生徒向けの話のたたき台作成）

全校集会等で児童生徒に話をするときのたたき台を作成します。

時期に応じて伝えたい内容や思いをプロンプトに入力することで話のたたき台を生成することができます。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

- ①人物 ②指示 ③対象 ④出力形式
⑤補助条件

あなたは高校の校長です。

二学期の始業式で話す内容を考えてほしい。

1年生から3年生の全校生徒に3分程度で話します。

夏休みの振り返りと二学期は学校行事と勉強を両立して成長していくことを入れてほしい。

生徒の意欲が向上するような言葉も入れてほしい。

■出力例

Copilot

以下は、二学期の始業式で校長先生が全校生徒に向けて話す内容の例です。約3分程度で話せるように構成しています。

皆さん、おはようございます。

長い夏休みが終わり、今日から二学期が始まります。まずは、皆さんが元気な姿で登校してくれたことをとても嬉しく思います。

この夏休み、皆さんはどんな時間を過ごしましたか？部活動に打ち込んだ人、家族との時間を大切にしたり、勉強に励んだ人、それぞれに充実した日々があったことでしょう。中には、思うように過ごせなかった人もいるかもしれません。でも、それも大切な経験です。振り返りを通して、自分の成長や課題を見つけることが、次の一歩につながります。

さて、二学期は学校行事が盛りだくさんです。体育祭、文化祭、修学旅行など、仲間と協力し、思い出を作る絶好の機会です。同時に、学習面でも大切な時期です。特に3年生は進路に向けての準備が本格化し、1・2年生も基礎を固める大事な時期です。

行事と勉強の両立は簡単ではありません。でも、だからこそ、皆さんの力が試される時です。時間の使い方、仲間との協力、そして自分自身との向き合い方——それらを通して、皆さんは確実に成長していきます。

もっと具体的な行事を入れてください。

カジュアルな口調にしてほしいです。

Copilot ヘッメッセージを送る



☆☆ 応用例（追加のプロンプト）☆☆ 生成AIの提案も表示されます。

- ・ 周りに感謝する心も大切にするを付け加えてください。
- ・ Word（文書作成ソフト）で原稿を作成してください。

1. 文章作成・校正補助（保護者向けの通知文書案の作成）

保護者向け文書の案を作成します。

文書に盛り込む要素や文体をプロンプトに明記することで、利用者が意図する文案を生成することができます。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

- ①人物 ②指示 ③対象 ④出力形式
⑤補助条件

あなたは高校の担任教師です。

次の要点を盛り込んで、保護者向けの三者面談案内の丁寧な文章を作成してください。

- ・目的:進路についての情報共有
- ・日時:7月10日(水)～12日(金)
- ・場所:各クラスの教室
- ・依頼:希望日時を添付の用紙に記入し、
6月28日(金)までに提出

■出力例

 Copilot

以下は、保護者向けの三者面談案内文の丁寧な文章例です：

三者面談のご案内

保護者の皆様へ

平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今後の進路選択に向けて、保護者の皆様と生徒本人を交えた三者面談を下記の通り実施いたします。進路に関する情報共有を目的とし、生徒一人ひとりの希望や状況に応じたご相談の機会とさせていただきます。

ご多用のところ恐縮ではございますが、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

つきましては、面談の希望日時を【添付の用紙】にご記入のうえ、**6月28日（金）までにご提出**くださいますようお願いいたします。

記

- ・ 日 時：7月10日（水）～7月12日（金）
- ・ 場 所：各クラスの教室
- ・ 対 象：生徒・保護者・担任による三者面談
- ・ 内 容：進路に関する情報共有および相談

ご不明な点がございましたら、担任までお気軽にお問い合わせください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

☆☆ 応用例（追加のプロンプト）☆☆

- ・ この文案をPDFで出力してください。
- ・ もう少し事務的な文章にして、いくつか文案をください。

1. 文章作成・校正補助（学級通信の校正）

学級通信等で作成した文章を校正します。

校正してほしいポイントをプロンプトに入力することで、こちらの意図に沿った正しい文章に修正することができます。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

①人物 ②指示 ③対象 ④出力形式

あなたは文章を校正する係です。

誤字、脱字、句読点、文脈に合わない語句、助詞の使い方、文末表現の統一、同音異義語、主語述語の組み合わせの不備、慣用句の使い方など修正箇所をすべて指摘してください。

添付している保護者あての学級通信を校正してください。

修正点は、太字にしてください。



■出力例

🌸 9 月の学級通信「4 年 1 組だより」🌸

いつもお世話になっております。9 月に入り、まだまだ暑い日が続いていますが、朝と夕方には少し涼しくなってきました。季節の変わり目で、体調を崩しやすいので、気をつけてください。

子どもたちは、夏休み明けから元気に学校へ来ており、友達と一緒に楽しく過ごしている様子が見られます。教室の中では、笑い声が飛び交っていて、にぎやかになっています。

さて、今月から運動会の練習が始まっています。今年のテーマは「ぜんりよくで走って、笑顔でゴール！」です。子どもたちが力を合わせて頑張っている姿が印象的です。練習中は、熱中症にならないように、水分をこまめに取りるようにしています。水筒の中身は、なるべく多く入れていただけると助かります。

国語の授業では、「ごんぎつね」を学習しています。ごんがどんな気持ちだったかを考えることで、子どもたちが自分の考えを言葉にする力をつけていけるようにしていきたいと思っています。ご家庭でも、話し合ってみてください。

また、9 月は体調を崩しやすい時期でもありますので、何かあった際には、遠慮なく連絡してください。今月もよろしくお願いいたします。

主な修正点まとめ：

- ・ 「ます」調と「です」調の混在を統一 [「～してます」→「～しています」など]
- ・ 「達」→「たち」： ひらがな表記が一般的
- ・ 文末表現の統一 [「～してます」→「～しています」]
- ・ 語句の自然な言い回しへの修正 (例：「にぎやかです」→「にぎやかになっています」)
- ・ 丁寧語の強化 (例：「入れてくれる」→「入れていただける」)

生成したイラストを使用
する場合は・・・

①「このイラストはAIで
生成されたものです」と
明記する。

②問合せに備えて、生成
過程を簡単に説明できる
ようにしておく。

☆☆ 応用例（追加のプロンプト）☆☆

- ・ 文章の内容に合ったイラストを付け加えてください。
- ・ 運動会練習のがんばりを褒める文を付け加えてください。

2. 検索補助（業務に関する情報収集）

授業準備や校務に必要な情報を効率よく収集します。■出力例
インターネットで行っていた検索を生成AIに質問することで、生成AIに必要な情報の見当をつけさせることができます。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

②指示 ⑤補助条件

SDGsの概要を簡単に教えてください。

また、参考となる文献を調べてください。

Copilot ⓘ

🌱 SDGs（持続可能な開発目標）の簡単な概要

SDGsは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に基づく、2030年までに達成すべき17の国際目標です。これらの目標は、貧困や飢餓の撲滅、教育、ジェンダー平等、気候変動対策など、地球規模の課題に取り組むために設定されています。

キーワードは「誰一人取り残さない（Leave no one behind）」。すべての人が持続可能な社会の恩恵を受けられるようにすることが目的です。

📖 参考になる文献・資料（2025年版）

以下は、最新のSDGsに関する日本語の参考資料です：

1. 外務省「自発的国家レビュー（VNR）2025」

日本政府がSDGsの進捗状況をまとめた公式報告書。各目標の達成状況や重点課題が詳しく記載されています。

👉 [外務省 VNR2025ページ](#) ⓘ

2. JANIC（SDGs市民社会ネットワーク）による市民レポート

市民の視点からSDGsの進捗を評価したレポート。政府の報告書と対比して読むと理解が深まります。

👉 [ThinkLobbyによる解説](#) ⓘ

3. 経団連「SDGs達成およびポストSDGsに向けて」

企業・経済界の視点からSDGsへの取り組みと今後の展望をまとめた資料。ESGやDEIとの関連も紹介されています。

👉 [経団連の政策提言](#) ⓘ

☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- ・ 高校で実施されている取組事例を調べてください。
- ・ 中学生にも分かるように概要を書き換えてください。

2. 検索補助（文献からの情報収集）

インターネットで公開されている文献の内容を生成AIに質問します。生成AIが文献を参照し、内容について回答します。ただし、回答が正確とは限らないため、確認が必要です。

■ プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

②指示 ⑤補助条件

文部科学省の生成AIガイドラインvol.2では生徒の生成AI利活用についてどのように記載されていますか。

■ 出力例

 Copilot ⓘ

文部科学省が2024年12月26日に公表した「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）」では、生徒（児童・生徒）の生成AI利活用について以下のように記載されています ②①。

■ 基本的な考え方

- ・ 生成AIは「道具」であり、人間中心の活用が前提。
- ・ 生徒が生成AIを使いこなす力（情報活用能力）を育てることが重要。
- ・ 教師の役割は、生成AIの活用を通じて生徒の思考力・判断力・表現力を育むこと。

■ 利活用の具体例（生徒向け）

ガイドラインでは、児童生徒が学習活動で生成AIを活用する場面として、以下のような例が挙げられています：

利活用が考えられる例：

- ・ 英語の表現を改善するためのアドバイスを得る。
- ・ プログラミング学習でコードのヒントを得る。
- ・ 調べ学習の際に情報の整理や要約を支援してもらう。

不適切と考えられる例：

- ・ レポートや作文をすべて生成AIに書かせる。
- ・ テストや課題の答えをそのまま生成AIに求める。
- ・ 他人の著作物を無断で生成AIに入力して加工する。

■ 利用時の留意点

- ・ 情報モラル教育の強化：生成AIが誤った情報を出す可能性があることを理解させる。

☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- ・ 不適切な利活用の具体例はガイドラインのどこに記載されていますか。

3. 会議・研修支援（会議の議事録を短時間で要約）

会議の議事録を短時間で整理し、共有用の要約資料を作成します。

会議の目的や共有したいポイントをプロンプトに明記することで、必要な情報が簡潔に整理され分かりやすい要約案を作成できます。

■プロンプト例

以下の会議議事録をもとに、3つの主要議題とその要点を箇条書きで整理してください。

【会議名】ICT職員研修反省会議
 【日時】2025年6月10日（水）14:00～15:30
 【出席者】校長、教頭、教務主任、ICT推進主任、研修担当
 【議題】1.研修内容の評価
 2.改善点と来年度の提案
 3.参加者アンケートの共有

✓ 音声書き起こし例（ICT職員研修反省会議）

司会（教頭）

「それでは、先日のICT職員研修についての反省会を始めます。本日は、研修担当の先生方とICT推進委員の皆さんに参加いただいています。」

ICT推進主任

「はい、まず全体の感想ですが、参加者アンケートを見ると『操作説明がわかりやすかった』『実際に端末に触る時間が多くて良かった』という声が多かったですね。ただ、一方で『資料が難しい』『実務にどう活かすかイメージしにくい』という意見もありました。」

研修担当

「私も資料については反省点だと思います。次回はもう少し （以下略）」

■出力例

 Copilot

以下は、2025年6月10日に開催された「ICT職員研修反省会議」の議事録をもとに整理した3つの主要議題とその要点です：

1. 研修内容の評価

- 参加者アンケートでは「操作説明がわかりやすい」「端末に触る時間が多くて良かった」と好評。
- 一方で「資料が難しい」「実務への応用がイメージしにくい」との指摘もあり。
- 実演時間が短く、生成AIを使った演習が物足りなかったとの声。

2. 改善点と来年度の提案

- 資料構成をステップごとに細分化する必要がある。
- 演習中心の構成に変更し、参加者が「自分で操作できた」と実感できるようにする。
- 説明パートを短縮し、質疑応答の時間を確保する方向で調整。
- 次回研修は夏休み期間中の実施を検討。

3. 参加者アンケートの共有

- ポジティブな意見と改善要望が混在。

☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- 各議題に対応する担当者（出席者）を追記してください。
- 決定事項と保留事項を分けて提示してください。

3. 会議・研修支援（校内研修用の資料案作成）

校内研修用資料のたたき台を作成します。
研修の目的や内容等をプロンプトに明記することで、
簡潔で分かりやすい資料案を作成できます。

■ プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

- ①人物 ②指示 ③対象 ④出力形式
⑤補助条件

あなたは指導教諭として授業改善を目的とした研修を企画します。

添付している「授業づくりのステップ1・2・3」を使って先生方を対象に90分間の研修を行います。

研修用プレゼンテーション資料のアウトラインを示してください。

説明、演習、協議を含めた計画にしてください。



資料を添付する。

■ 出力例

Copilot

ありがとうございます。ご提供いただいた「授業づくりのステップ1・2・3」に基づき、90分間の研修のためのプレゼンテーション資料のアウトラインを以下のように構成しました。

■ 授業改善研修：授業づくりのステップ1・2・3 活用研修（90分）

◆【導入】（10分）

- 研修の目的とねらいの共有
 - 「わかりやすく、力づく授業」へのステップアップ
 - 授業づくりの5つの視点と3つのステップの意義
- アイスブレイク：授業で大切にしていることを共有（ペアトーク）

◆【第1部】授業づくりの5つの視点（説明＋演習）40分

- 「めあて」の提示（8分）
 - ステップ1～3の違いの解説
 - ワーク：自分の授業での「めあて」をステップアップさせると？
- 「まとめ」の工夫（8分）
 - 子どもの理解を深める「まとめ」の在り方
 - ワーク：実際の単元での「まとめ」の工夫を考える
- 「書く活動」の設定（8分）

下にスクロールすると【第2部】協議案（30分）や【まとめ・振り返り】（10分）、補足資料（プレゼン資料に含めるとよい要素）まで示してあります。

具体的な演習内容を教えてください。

研修の目的について詳しく知りたい。



☆☆ 応用例（追加のプロンプト）☆☆

- このアウトラインを基にスライドを作成してください。
- 演習部分のワークシートを作成してください。

4. 情報収集・集計・分析補助（アンケート集計・分析）

アンケートの集計や分析を行います。

生成AIにアンケート回答をアップロードし、集計の形式や分析したい内容等を指示することで、効率的に状況の把握が可能になります。

■ プロンプト例

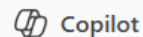
添付したアンケートの回答について、集計結果をテキストで示してください。

【生成AI利活用アンケート】

学年	生成AIを使用したことがありますか	生成AIをどのような目的で使いましたか	生成AIの利用について、どのように感じていますか
1	はい	宿題・レポート作成	役に立つ
2	いいえ		不安だ
2	いいえ		使い方がわからない
3	はい	プログラミング	とても役に立つ
3	はい	調べもの	とても役に立つ
1	はい	宿題・レポート作成	役に立つ
2	はい	趣味・創作活動	あまり役に立たない
1	いいえ		不安だ
3	いいえ		使い方がわからない
3	はい	宿題・レポート作成	役に立つ
1	はい	調べもの	あまり役に立たない
1	はい	調べもの	役に立つ
2	はい	宿題・レポート作成	とても役に立つ
2	いいえ		あまり役に立たない

※ ファイルをアップロードする際は個人情報等の機微情報が含まれていないことを確認しましょう。

■ 出力例



分析 ▼

アンケートの集計結果をテキスト形式で以下にまとめました：

【① 生成AIを使用したことがありますか】

- ・ はい：12人（60%）
- ・ いいえ：8人（40%）

【② 生成AIをどのような目的で使いましたか】

（※使用経験が「はい」の人のみ対象）

- ・ 宿題・レポート作成：5人（42%）
- ・ 調べもの：4人（33%）
- ・ 趣味・創作活動：2人（17%）
- ・ プログラミング：1人（8%）

【③ 生成AIの利用について、どのように感じていますか】

- ・ とても役に立つ：5人（25%）

☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- ・ 学年別に結果を集計し、円グラフにしてください。
- ・ 集計結果から確認できる課題と解決策を提案してください。

5. 計画・アイデア出し・思考整理（授業構成案の作成）

授業計画やアイデア出し、思考整理を支援します。
授業の構成案作成や改善、スライド展開、ポイント整理など多様な活用が可能です。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

②指示 ④出力形式 ⑤補助条件

物理基礎の『力と運動（第1回）』について、学習指導要領に沿って授業の構成案を作成してください。

授業の導入、展開、まとめに分け、ポイントを箇条書きで整理してください。

■出力例

Copilot

以下は、物理基礎の「力と運動（第1回）」に関する授業構成案です。文部科学省の高等学校学習指導要領（物理基礎）に準拠し、「力と運動」の導入として適切な内容を盛り込んでいます。

🕒 授業構成案：「力と運動（第1回）」

🟢 導入（10分）

目的：生徒の興味を引き、力と運動の学習意義を理解させる

スライドに含めるポイント：

- ・ 日常生活の中の「力と運動」の例（例：自転車の加速、電車の停止）
- ・ 「なぜ物体は動くのか？」という問いかけ
- ・ 単元の学習目標（例：「力の種類と運動の関係を理解する」）
- ・ 学習指導要領に基づく単元の位置づけ（力学分野の基礎）

下にスクロールすると、展開（30分）まとめ（10分）それぞれのスライドに含めるポイントや活動例まで示してあります。

具体的な実験例を教えてください。

今回の授業内容について詳しく知りたい。



☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- ・ グループ活動用の問いを考えてください。
- ・ 振り返り用アンケート案を作成してください。

学校行事や校務改善、部活動などの計画やアイデアの整理を支援します。

複数の案を提案させることで、アイデアの幅を広げることができます。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

②指示 ④出力形式 ⑤補助条件

体育祭をより安全にするため、熱中症リスクといった課題を解決するためのアイデアを箇条書きで5つ提案してください。

各案の概要・メリット・デメリットを含む改善ポイントを示してください。

■出力例

Copilot

以下は、体育祭をより安全にし、特に熱中症リスクを軽減するための改善アイデア5つです。それぞれの概要・メリット・デメリットを含めてご提案します。

1. 開催時期の見直し（春・秋への変更）

- ・ 概要：気温が高くなる夏を避け、比較的涼しい春や秋に体育祭を開催。
- ・ メリット：
 - ・ 熱中症リスクが大幅に低減。
 - ・ 生徒の集中力やパフォーマンスが向上。
- ・ デメリット：
 - ・ 他行事とのスケジュール調整が必要。
 - ・ 天候不順（秋雨など）のリスクもある。
- ・ 改善ポイント：
 - ・ 年間行事計画を早期に見直し、関係者との調整を丁寧に行う。

2. WBGT（暑さ指数）モニタリングとリアルタイム対応

- ・ 概要：WBGT値をリアルタイムで測定し、一定値を超えた場合は競技の中断や変更を行う。
- ・ メリット：

はい、提案書を作成してください。

これらの図表をPDFにしてほしい。



☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- ・ 提案を5段階で評価し、優先順位をつけてください。
- ・ さらに具体的な実施手順や留意点を追加してください。

6. 評価問題・課題作成支援（課題案の作成）

自分で作成した課題案を生成AIに提示し、改善点や助言をもらうことで、内容の質を高める。

■プロンプト例

【取り入れたプロンプト作成のポイント】

②指示 ③対象 ④出力形式 ⑤補助条件

以下に高校1年生の社会科学習の課題案を示します。

表現改善や、より深い考察を促す改善案を提案してください。

さらに生徒が多角的に考えられるような追加の問いを作成してください。

【課題案】

— SNSの普及が現代社会に与える影響を論じなさい。

■出力例

Copilot

とても良い課題案ですね！「SNSの普及が現代社会に与える影響を論じなさい」という問いは、現代的で生徒の関心にもつながりやすく、思考力・表現力を育てるのに適しています。

以下に、表現の改善案とより深い考察を促す工夫をご提案します。

🔥【表現改善案】

元の課題：

SNSの普及が現代社会に与える影響を論じなさい。

改善案：

SNSの普及が私たちの暮らしや社会のあり方にどのような影響を与えているかについて、肯定的・否定的な側面の両方を踏まえて論じなさい。

理由：

- ・「私たちの暮らしや社会のあり方」とすることで、より身近な視点と広い社会的視点の両方を意識できます。
- ・肯定的・否定的な側面を明示することで、バランスの取れた考察を促します。

💡【より深い考察を促す工夫】

1. 具体的な観点を提示する

生徒が考えやすくなるよう、以下のような観点を補足すると効果的です：

☆☆ 応用例（追加のプロンプト） ☆☆

- ・ この課題に対する生徒同士の相互評価を行う場合、どのような評価観点を設定すればよいか提案してください。